

よこはま保健医療プラン2024の策定について

本市では、保健医療分野における中期的な計画として「よこはま保健医療プラン2018（平成30年度から令和5年度）」を策定し、各種施策を推進しています。

このたび、令和6年度から令和11年度までの6年間を計画期間とする次期プラン策定に向けて、検討を開始しましたので、御報告いたします。

1 よこはま保健医療プランの概要

(1) 趣旨

急速な高齢化の進展など保健医療を取り巻く環境が大きく変化する中、本市の実情に適した課題の解決を図るため、保健医療分野を中心とした施策を総合的に体系付けた中期的な指針として「よこはま保健医療プラン」を策定し、各種施策を推進します。

(2) 計画期間

2024年度（令和6年度）から2029年度（令和11年度）まで（6年間）

(3) 策定根拠

医療法に基づき、都道府県単位で策定される「医療計画」に準じて、本市独自に策定します。策定にあたっては、国が示す「医療計画策定指針」等をふまえ、「神奈川県保健医療計画」とも整合性を図りながら策定していきます。

(4) 「よこはま保健医療プラン2018」（参考）

I プランの基本的な考え方	
II 横浜市の保健医療の現状	
III 横浜市の保健医療の目指す姿『2025年に向けた医療提供体制の構築』	
1 横浜市の医療提供体制と横浜型地域包括ケアシステムの構築	
2 2025年に向けた医療提供体制の構築 <地域医療構想の具現化>	
3 患者中心の安全で質の高い医療を提供する体制の確保	
4 横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた介護等との連携	
IV 主要な疾病（5疾病）ごとの 切れ目ない保健医療連携体制の構築	V 主要な事業（4事業）ごとの 医療体制の充実・強化
1 がん	1 救急医療
2 脳卒中	2 災害時における医療
3 心筋梗塞等の心血管疾患	3 周産期医療（周産期救急医療を含む。）
4 糖尿病	4 小児医療（小児救急医療を含む。）
5 精神疾患	※次期プランでは、 「新興・再興感染症」が追加予定
VI 主要な保健医療施策の推進	
1 感染症対策	
2 難病対策	5 障害児・者の保健医療
3 アレルギー疾患対策	6 歯科口腔保健医療
4 認知症疾患対策	7 生活習慣病予防の推進（第2期健康横浜21の推進）
VII 計画の進行管理等	

2 策定の進め方

(1) 「よこはま保健医療プラン策定検討部会」の設置

横浜市保健医療協議会の専門部会として、「よこはま保健医療プラン策定検討部会」を設置し、検討を進めていきます。

よこはま保健医療プラン策定検討部会 委員 (○は部会長)		五十音順 (敬称略)
生田 純也 (横浜市社会福祉協議会高齢福祉部地域ケアプラザ分科会会長)	菱本 明豊 (横浜市立大学 医学部精神医学教室 主任教授)	
石川 ベンジャミン 光一 (国際医療福祉大学 教授)	平元 周 (横浜市病院協会 副会長)	
牛丸 良子 (神奈川県看護協会 横浜北支部理事)	○伏見 清秀 (東京医科歯科大学医学部 教授)	
河村 朋子 (横浜在宅看護協議会 会長)	松浦 正義 (横浜市民生委員児童委員協議会 理事)	
久保田 充明 (横浜市薬剤師会 副会長)	三角 隆彦 (済生会横浜市東部病院 院長)	
小松 弘一 (横浜市立市民病院 院長)	吉村 幸浩 (横浜市立市民病院 感染症内科長)	
寺内 康夫 (横浜市立大学 学術院医学群長兼医学部長)	渡辺 豊彦 (横浜市医師会 副会長)	
二宮 威重 (横浜市歯科医師会 常任理事)		

(2) 横浜市民の医療に関する意識調査

今年度は、「横浜市民の医療に関する意識調査」を実施します。

ア 目的

市民の皆様が医療機関を受診する際に、どのように情報を得ているか、何を基準に医療機関を選択しているのか、また、どのような医療の充実を望んでいるのか等を把握し、「よこはま保健医療プラン 2024」の策定に向けた検討に活用します。

イ 概要

調査対象：18歳以上の横浜市民 3,000人 (外国籍の方も含む)

※住民基本台帳からの無作為抽出による

調査期間：11月22日(火)から12月21日(水)まで

調査方法：郵送配布の上、郵送又はインターネットによる回答

(3) スケジュール

策定に向けた検討状況については、本常任委員会にて随時御報告し、御意見を伺いながら検討を進めていきます。

